



ただ、愉しむ為に生まれてきた

monika

ただ、愉しむ為に生まれてきた



枠を外す

何かをジャッジするたびに

枠が増える

全ては自分だと知ると

その枠やジャッジの必要性が消えていく

それこそが

あなたの力を取り戻すことだ

ただ、愉しむ為に生まれてきた



自由に自分で選ぶ世界観

もしも

今の現実が、幻だったとしたら？

その重苦しい気持ちが

自分でつくっているだけだとしたら？

ただ、愉しむ為に生まれてきた



シンプルになることは

物事を切り捨てることではない

ただただ

含んでいくこと

目の前の

いらないように見えているものも

本当は

あなたの一部なのだから・・・

ただ、愉しむ為に生まれてきた



その境界線は

本当だろうか？

あなたと私

良いことと悪いこと

悲しみと喜び

依存と自立

その境界線は本当だろうか？

ただ、愉しむ為に生まれてきた



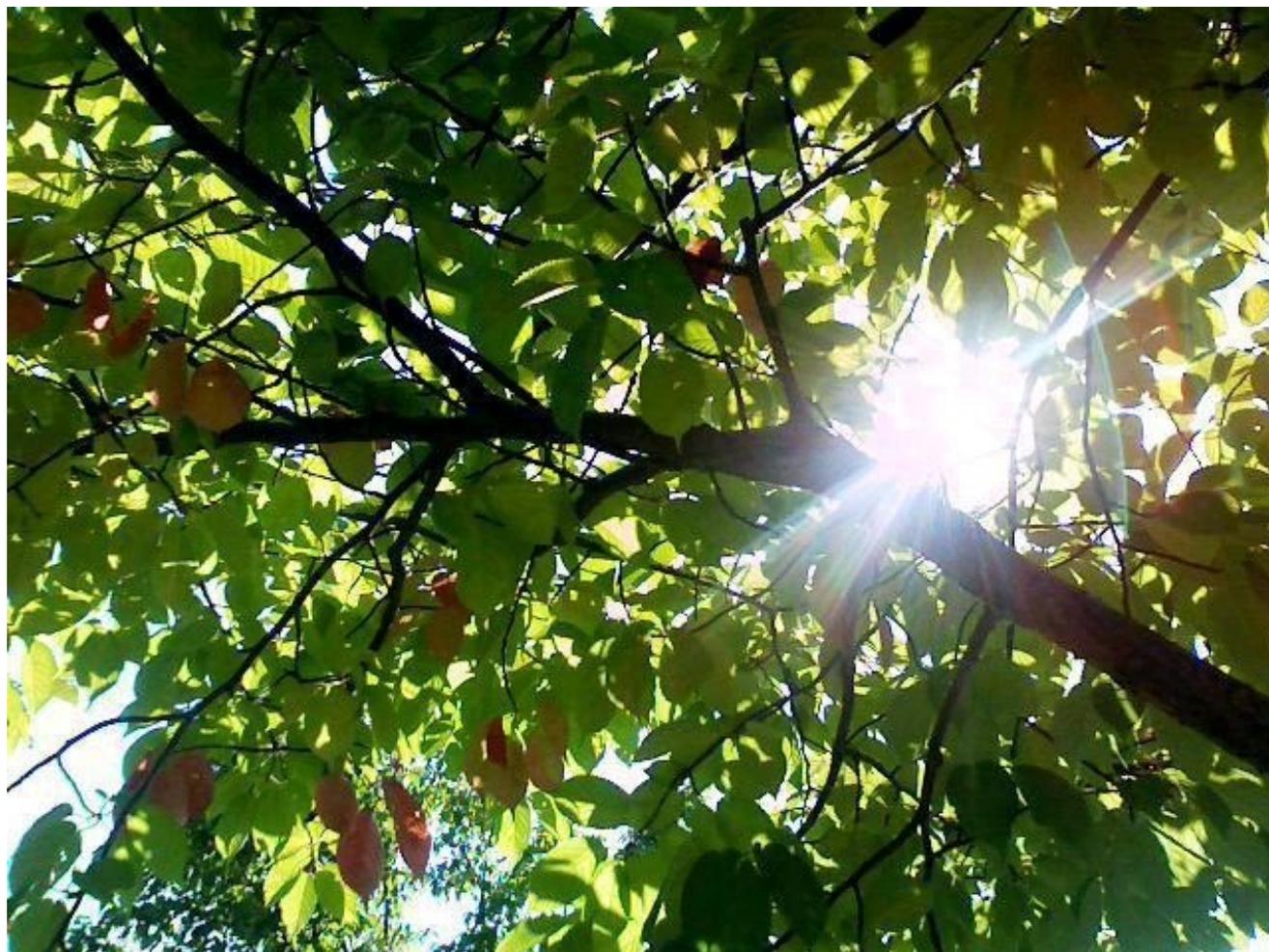
あなたの恐れているものはなんですか？

大切なものを失うことは
とても怖いこと

大切なものが
ふえればふえるほど、怖いこともふえる
何かを握り締めれば、握り締めるほど
怖いことはふえる

本当に大切なものは
無くなりほしくないというのに

ただ、愉しむ為に生まれてきた



ただ、愉しむ為に生まれてきた

<http://p.booklog.jp/book/53872>

著者 : monika4966

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/monika4966/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/53872>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/53872>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ